

# mitsubishi

## 三菱電機フリープランシステム

### 室内ユニット（Cタイプ）

#### システム設計・工事マニュアル 据付説明書

#### （システム制御・電気工事関連の補足資料）

本資料は、室内ユニット（Cタイプ）をご使用になる場合の「システム設計・工事マニュアル」及び「据付説明書」の補足資料です。据付工事前に、必ずお読みください。

#### 「システム設計・工事マニュアル」補足項目

- ・配線設計
- 3．制御配線
- 4．基本システムの機外配線
- 5．システム構成の規約
- ・システム制御
- 1．リモコンの選定
- 2．システム制御
- ・据付工事
- 4．電気工事
  - (3)伝送線配線
- 5．試運転
  - (2)試運転方法
  - (3)試運転不具合時の対応
  - (4)リモコンの動作不具合内容と処置

#### 「据付説明書」（室外ユニット付属）の補足項目

- 9．電気工事
  - (3)伝送線配線
- 10．試運転
  - (2)試運転方法
  - (3)試運転不具合時の対応
  - (4)リモコンの動作不具合内容と処置

上記補足項目以外の内容につきましては、室外ユニット各機種の「システム設計・工事マニュアル」及び「据付説明書」をご覧ください。

#### もくじ

ページ

1．システム制御	
1.1 リモコンの選定方法	1
(1) MAリモコンとM-NETリモコンの機能比較	1
(2) リモコン選定のポイント	1
(3) 手元リモコンの機能比較	2
1.2 各種発停制御	2
1.3 入出力信号用コネクタを使用した各種制御	3
(1) 遠方/手元切換を使用した場合の説明	3
(2) 入出力信号組合せ制限	3
(3) 発停（パルス）入力仕様	3
(4) 入出力信号用コネクタ仕様	4
1.4 システムコントローラを使用した制御	5
(1) システムコントローラ制御組合せ制限	5
1.5 ロスナイの連動制御	6
1.6 システム構成の制約	6
(1) 伝送線用給電拡張ユニット接続方法	7
2．電気工事	
2.1 制御配線	8
2.2 スイッチ設定の種類と方法	8・9
2.3 システム接続例	10～25
3．試運転と自己判断	
3.1 MAリモコン各部の名称	26
3.2 点検コード	26
3.3 リモコンの動作不具合と処置	27・28

# 1. システム制御

## 1.1 リモコンの選定方法

### (1) MAリモコンとM-NETリモコンの機能仕様と比較

機能・仕様	MAリモコン (注1)	M-NETリモコン (注2)
リモコンアドレス設定	不要	必要
室内・室外ユニットアドレス設定	不要(単一冷媒システムのみ) (注3)	必要
配線方式	無極2線 *グループ運転時は、室内ユニット間を無極2線渡り配線必要	無極2線
リモコン取付位置	グループ内のどの室内ユニットに接続しても可	室内外伝送線上のどこに接続しても可
換気ユニットとの連動	室内ユニット毎に連動換気ユニットを自由に設定可能(同一グループ内のリモコンによる登録)	室内ユニット毎に連動換気ユニットを自由に設定可能(リモコンによる登録)
グループ変更時	室内ユニット間のMAリモコン配線の変更が必要	室内ユニットとリモコンのアドレス変更またはMELANSでの登録変更が必要

- (注1) MAリモコンとは、MAリモコン及びワイヤレスリモコンを表します。  
 (注2) M-NETリモコンとは、ネットワークリモコン及びコンパクトリモコンを表します。  
 (注3) 単一冷媒システム時も、システム構成によりアドレス設定が必要な場合があります。  
 【2.3 システム接続例】をご覧ください。

### (2) リモコンの選定のポイント

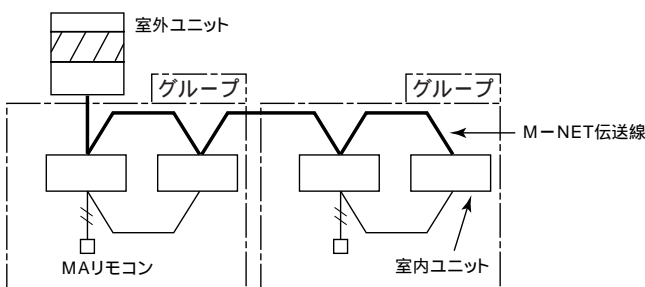
MAリモコン / M-NETリモコンの選定は、各々の特性を活かしたシステムになるように選択してください。

以下に、選定の目安を示します。

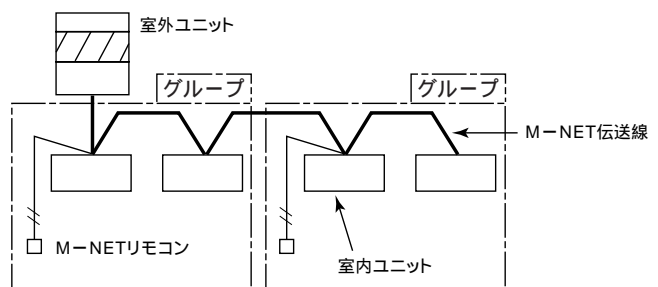
MAリモコン (注1, 2)	M-NETリモコン (注1, 2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム拡張、グループ変更の可能性が少ない場合</li> <li>・据付工事時に、グループ編成(間仕切り)が決定している場合</li> <li>・Set-Y機種の場合、伝送線用給電拡張ユニットなしで32台接続可能(全室内ユニットがJ224未満の場合) (注3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム拡張、グループ変更の可能性がある場合</li> <li>・据付工事時にグループ編成(間仕切り)が未決定の場合</li> <li>・加熱加湿器付ロスナイに直接リモコンを接続したい場合</li> <li>・Big-Y・Set-Y機種の場合、伝送線用給電拡張ユニットなしで20台接続可能(全室内ユニットがJ224未満の場合) (注4)</li> </ul>

- (注1) 同一グループ室内ユニットに、M-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。  
 (注2) MAリモコンとM-NETリモコンを混在する場合は、必ずシステムコントローラを接続してください。  
 (注3) J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合に伝送線用給電拡張ユニットが必要です。  
 (注4) J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は伝送線用給電拡張ユニットが必要です。

< MAリモコンを使用した場合 >



< M-NETリモコンを使用した場合 >



(3)手元リモコンの機能比較

	MAリモコン		M-NETリモコン	
	MAリモコン (注1)	ワイヤレスリモコン (注1、2)	ネットワーク リモコン	コンパクトリモコン (注2、3)
運転/停止				
室温設定				
風速設定				
運転モード切換				×
風向設定				×
室内ユニットと換気運動時の換気単独運転		×		×
リモコンからの換気運動登録		×		×
加熱加湿付ロスナイ(注1)	×	×		

(注1) 加熱加湿付ロスナイに、MAリモコンを直接接続できません。(ネットワークリモコンをご使用するか、もしくは室内ユニットの連動機としてご使用ください)

(注2) ワイヤレスリモコン(ワイヤレスリモコンの自動アドレス立ち上げを除く)、及びコンパクトリモコンには換気登録機能がない為、換気運動時はMAリモコン、ネットワークリモコンまたは、システムコントローラからの初期設定が必要です。

(注3) コンパクトリモコンは、運転モード及び風向き設定ができない為、ネットワークリモコンまたは、システムコントローラとの併用が必要です。

1.2 各種発停制御(室内ユニット設定)

室内ユニットのDIPSW(SW1-9、10)により、室内ユニット(グループ)毎の発停制御が可能です。

機能	室内ユニット復電時の動作	設定(SW2)(注4)	
		9	10
電源発停(注1、2、3)	電源を切る(停電する)前の状態にかかわらず運転開始(3~4分後)	—	ON
停電自動復帰	電源を切る(停電する)前に運転していた場合に運転開始(3~4分後)	ON	OFF
	電源を切る(停電する)前の状態にかかわらず停止のまま	OFF	OFF

(注1) 室外ユニットの電源は、遮断しないでください。

室外ユニットのクランクケースヒータ電源が遮断されてしまうため、復電後運転させた場合に圧縮機の故障につながる可能性があります。

(注2) ドレンポンプかつ加湿器搭載機種は対応できません。

(注3) ドレンポンプ搭載機種は、同一冷媒系統一括の電源発停以外対応できません。

(注4) 室内ユニットグループ内の全ユニットのDIPSWの設定が必要です。

### 1.3 入出力信号用コネクタを使用した各種制御（各種オプションによる接続）

分類	使用用途	機能	使用端子	使用オプション
入力 (注1)	室内ユニットグループ毎に外部からの接点・スイッチ等の入・切により、発停制御をする方法 * タイマーアダプターとして使用可能 (注1) * 「切り忘れ防止」や「強制停止」として使用可能	遠方/手元切換(注3) 発停(レベル) (注2, 4)	CN32	遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA)
	室内ユニットグループ毎に外部からのパルス入力(a接点)により、運転/停止を反転させ発停制御をする方法	発停(パルス) (注2, 4)	CN51	遠方表示用アダプター(注5, 6) (PAC-SA88HA)
	室内ユニットグループ毎にHA, JEMA規格によるHA端子で、発停制御をする方法 * 本規格に合致したテレコンからの発停制御として使用可能	発停(パルス) (HA, JEMA規格)(注2, 4)	CN41	
	室内ユニット毎に外部からの接点・スイッチ等の入・切により、冷暖房運転の禁止(強制送風)制御をする方法 * 室内ユニット毎のデマンド制御として使用可能	デマンド(レベル)	CN52	遠方表示用アダプター(注5, 6) (PAC-SA88HA)
出力	室内ユニットグループ毎に外部へ信号を取り出す方法 * 運転状態の表示装置として使用可能 * 外部機器との連動制御として使用可能	運転状態	CN51	M制御用遠方表示キット(注6) (PAC-YU80HK)
		異常状態		
		運転モード(暖房)状態	CN52	
		運転モード(冷房・ドライ)状態 サーモON(又は送風)状態		

(注1) 信号入力は、グループ内の親機のみ接続してください。

(但し、デマンド入力は室内ユニット個別に信号入力が必要です。)

(注2) グループ運転で発停入力を使用する場合は、手元リモコンが必要です。

(注3) 遠方に設定時には、手元リモコンからの操作は出来ません。リモコンは“集中管理表示”となります。

(注4) グループ運転で発停入力を使用する場合は、「自動アドレス立ち上げ」はできません。

(注5) CN51又はCN52を出力信号と併用する場合は、M制御用遠方表示キットを必ずご使用ください。

(注6) M制御用遠方表示キットは、そのままCN51及びCN52の入力信号もご使用になれます。

#### (1) 遠方/手元切換 (CN32) を使用した場合の説明

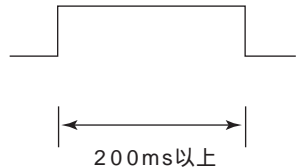
遠方手元切換	発停	状態	リモコン表示及び操作
OFF	OFF	手元/許可	操作有効
ON	OFF	遠方/停止	遠方中は“集中管理表示”
ON	ON	遠方/運転	リモコン運転操作 [ON/OFF] 禁止(無効)

#### (2) 入出力信号組合せ制限

	発停の種類		遠方/手元 切換	パルス発停	HA発停 (JEMA)	電源発停	復電自動復帰
1	遠方/手元切換	CN32	—	×(注1)	×(注1)	×(注1)	×(注1)
2	パルス発停	CN51		—			
3	HA発停(JEMA)	CN41			—		
4	電源発停	—				—	×
5	復電自動復帰	—					—

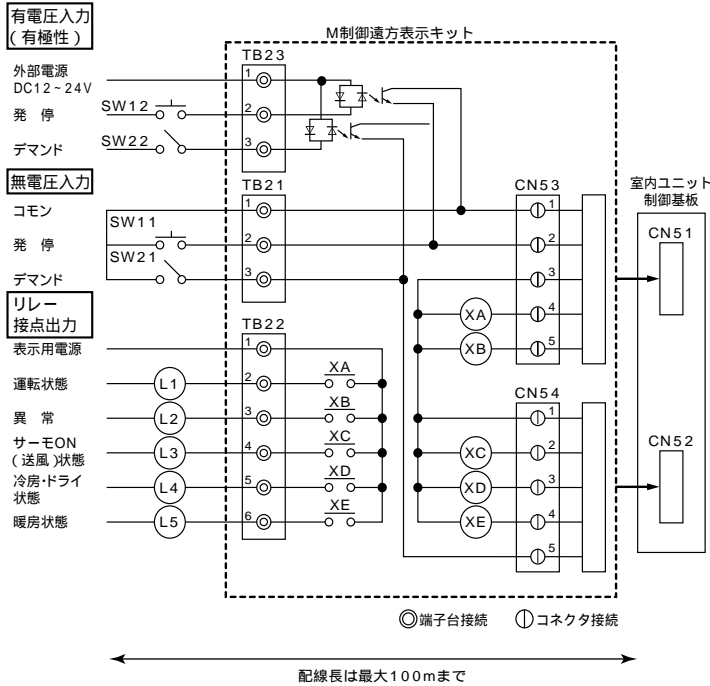
(注1) パルス発停・電源発停・復電自動復帰は、遠方/手元切換 (CN32) が“手元”に設定されている場合にのみ、使用可能です。

#### (3) 発停 (パルス) 入力仕様

項目	内容
入力信号	パルス信号 (a接点)
パルス規格	 <p style="text-align: center;">200ms以上</p>

(4)入出力信号用コネクタ仕様

M制御用遠方表示キット (PAC-YU80HK)



<有電圧入力の場合>

SW12	遠方発停スイッチ SWを押す(パルス入力する)毎にON/OFFを反転します。
SW22	デマンドスイッチ SW ON時、冷暖房運転を禁止(強制送風)します。
外部電源 DC12~24V (1接点当たり約10mA)	

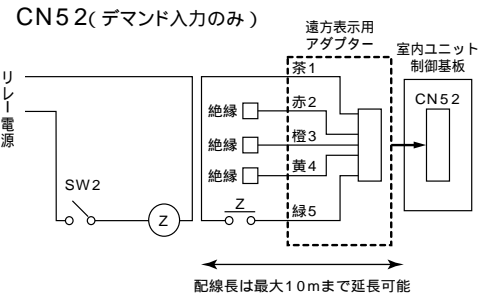
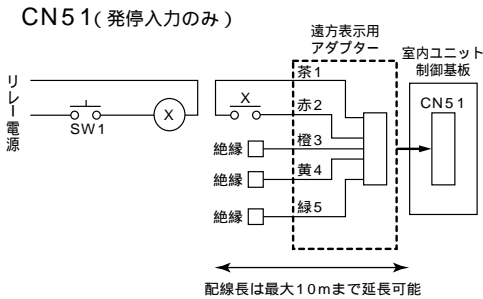
<無電圧入力の場合>

SW11	遠方発停スイッチ SWを押す(パルス入力する)毎にON/OFFを反転します。
SW21	デマンドスイッチ SW ON時、冷暖房運転を禁止(強制送風)します。
最小適用負荷 DC12V 1mA	

<表示信号出力>

L1	運転状態表示ランプ
L2	異常状態表示ランプ
L3	サーモON(送風)状態 送風機(SW1-5 OFF時)状態表示ランプ
L4	冷房・ドライ状態表示ランプ
L5	暖房状態表示ランプ
XA~XE: リレー (許容電流 10mA~1A)	

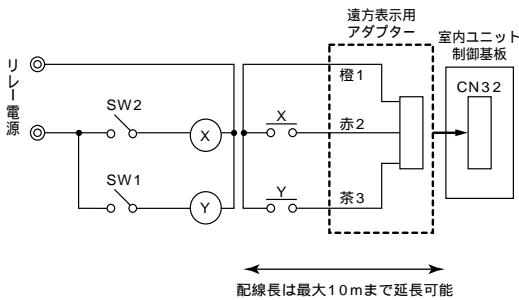
遠方表示用アダプター (PAC-SA88HA)



SW1	遠方発停スイッチ(モーメンタリスイッチ) SWを押す(パルス入力する)毎にON/OFFを反転します。
X: リレー (接点: 最小適用負荷 DC12V 1mA)	

SW2	デマンドスイッチ SW ON時、冷暖房運転を禁止(強制送風)します。
Z: リレー (接点: 最小適用負荷 DC12V 1mA)	

遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA)



SW1	遠方/手元切換スイッチ
SW2	発停スイッチ SW1がON時のみ有効
X, Y: リレー (接点: 最小適用負荷 DC12V 1mA)	

## 1.4 システムコントローラを使用した制御

		グループリモコン PAC-SC30GR	システムリモコン PAC-SF42SC	集中コントローラ MJ-103MTR-B	マルチパネルコントローラ MJ-1111AN-C
1	運転 / 停止				
2	運転モード切換				×
3	室温設定				×
4	風速設定		×		×
5	風向設定		×		×
6	室内ユニットと換気運動時の換気単独運転		×		×
7	室内温度表示		×	×	×
8	スケジュール	(注2)	(注2), (注4)		×
9	手元リモコン禁止	×			×
10	運転モード制限	×		×	×
11	手元リモコンなしシステム		(注3), (注4)		× (注3)
12	外部入力 (一括停止)	×			
13	汎用機器の制御	×	×	(注5)	×
14	室内外伝送線の接続 (注1)			×	×

○ : グループ又は一括操作可能    □ : グループ操作可能    × : 機能なし

(注1) グループリモコン及びシステムリモコンを室内外配線に接続する場合は、室内ユニット及びM-NETリモコンの接続台数により伝送線用給電拡張ユニットが必要になる場合があります。

(グループリモコン及びシステムリモコンは、M-NETリモコン2台分に換算してください。)

(注2) スケジュールは、スケジュールタイマーを使用すれば可能です。

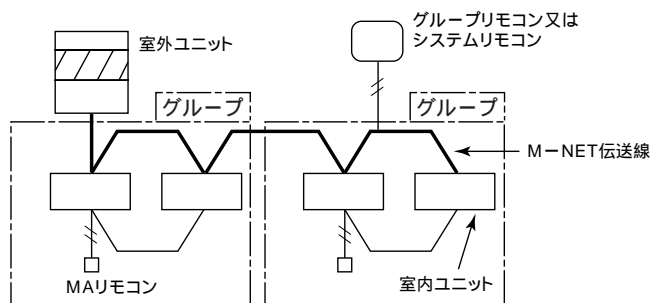
(注3) システムリモコンは風速及び風向操作機能がなく、

マルチパネルコントローラは運転モード等が操作機能がない為、手元リモコンなしシステムでのご使用はできません。

(注4) システムリモコンでは、スケジュールと外部入力の同時使用はできません。

(注5) 汎用機器を制御する場合は、別売の汎用インターフェースが必要です。

< グループリモコン及びシステムリモコンを室内外伝送線へ接続した場合 >



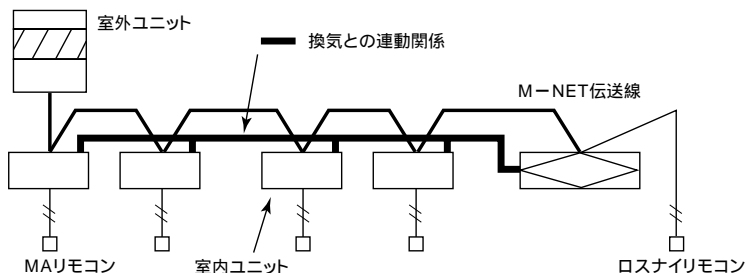
### (1) システム制御組合せ制限

	発停の種類		システムコントローラ なし	システムコントローラ 接続あり
1	遠方 / 手元切換	CN32		(注1)
2	パルス発停	CN51		
3	HA発停(JEMA)	CN51		
4	電源発停	—		
5	復電自動復帰	—		

(注1) 遠方 / 手元切換 (CN32) が“遠方”設定されている場合は、システムコントローラの発停操作及び手元リモコン禁止機能は使用できません。

## 1.5 ロスナイの連動

以下のロスナイは、室内ユニットからの連動とロスナイリモコンからの単独運転併用が可能です。



併用可能な機種（形名）

- ・天吊カセット形（LGH-\*\*CF2, LGH-\*\*CF2D）
- ・床置ビルトイン形（LB-\*\*F2）
- ・床置ビルトイン形加湿付（LB-\*\*KF2）
- ・フリープランアダプタ（PZ-53ADF, PZ-53ADFD）

## 1.6 システム構成の制約（システム制限の各ユニット共通事項）

\* ユニット個別の接続制限については、各ユニットの工事マニュアルをご覧ください。

	立ち上げ法		
	室内外自動アドレス立ち上げの場合（注4）	室内外手動アドレス立ち上げの場合	システムコントローラ接続立ち上げの場合（注5）
リモコン接続台数	1グループ内2リモコンまで接続		
1グループ内の室内ユニット接続台数	1～16台		
室内ユニットへの換気ユニット接続台数	室内ユニット1台あたり1台		
換気ユニットへの室内ユニット換気台数	換気ユニット1台あたり1～16台（注1）		
単一冷媒系統内の換気ユニット接続台数（注1）	1台	—	—
単一冷媒系統内の総接続台数 < MAリモコン接続台数 > （注2）	全室内ユニットが J224未満の場合	最大32台（ロスナイ除く）	
	J224以上含まれる場合	最大26台 * 上記台数を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要です	
単一冷媒系統内の総接続台数 < M-NETリモコン接続台数 > （注2、3）	全室内ユニットが J224未満の場合	最大20(40)台（注6） * 上記台数を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要です	
	J224以上含まれる場合	最大16(32)台（注6） * 上記台数を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要です	

（注1）単一冷媒系統内に16台を超える室内ユニットと換気ユニットを連動する場合は、「室内外自動アドレス立ち上げ」はできません。

\* 「室内外手動アドレス立ち上げ」又は「システムコントローラ接続立ち上げ」を選択ください。

（注2）総接続台数とは、室内ユニット及び換気ユニット（加熱加湿付ロスナイ）の合計数です。

（注3）MAリモコンとM-NETリモコンを併用した場合の制限台数は、< M-NETリモコン接続時 > となります。

（注4）グループ運転で発停入力を使用する場合は、「室内外自動アドレス立ち上げ」はできません。

（注5）MAリモコンとM-NETリモコンを併用する場合は、システムコントローラを接続し「システムコントローラ接続立ち上げ」となります。

（注6）（ ）内は、室内ユニットとM-NETリモコンの合計台数です。

(1) 伝送線用給電拡張ユニットの接続方法

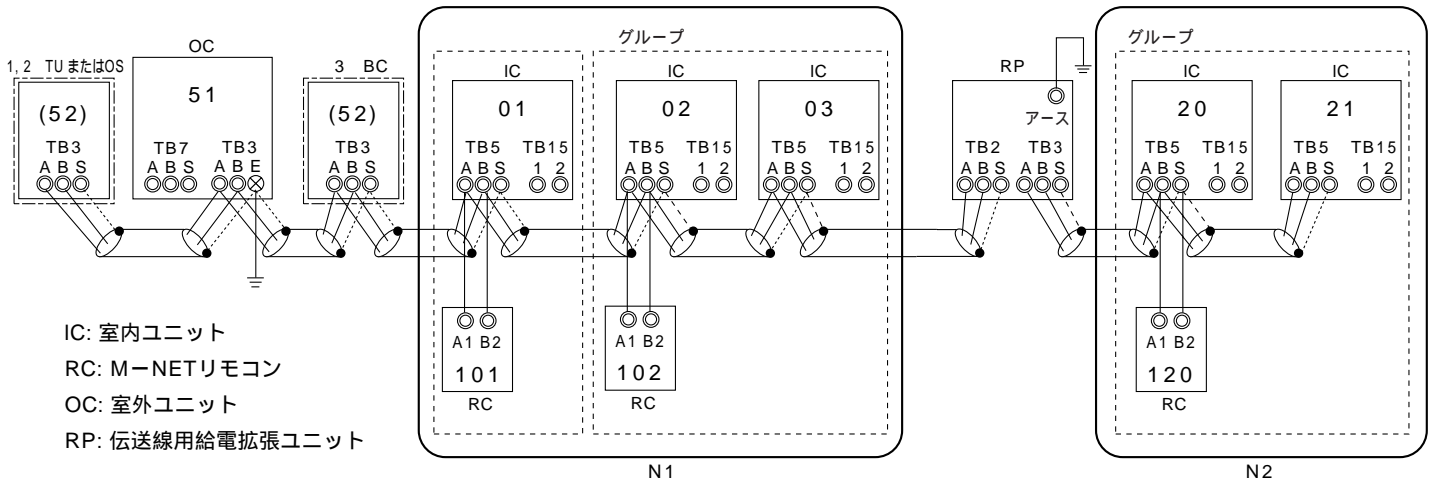
室外ユニットから伝送線用給電拡張ユニットまでの室内ユニット台数「N1」と、伝送線用給電拡張ユニット以降の室内ユニット台数「N2」を下表の制限台数内としてください。

リモコンの種類	MAリモコン(注1)	M-NETリモコン(注2)
	全室内ユニットがJ224未満の場合の室内ユニット台数	32
J224以上が含まれる場合の室内ユニット台数	26	16(32)

( )内は、室内ユニット及びM-NETリモコンの合計数

(注1) MAリモコンとは、MAリモコン及びワイヤレスリモコンを表します。

(注2) M-NETリモコンとは、ネットワークリモコン及びコンパクトリモコンを表します。



- 1 TU: ICE-Ykシステムの場合のみ存在
- 2 OS: SET-Yシステムの場合のみ存在
- 3 BC: R2/WR2システムの場合のみ存在



# 2.電気工事

## 2.1 制御配線

制御配線は、システム構成により異なります。配線工事の前に必ず、【2.3システム接続例】をご覧ください。

### (1)制御配線の種類と許容長

制御線配線には、「伝送線」と「リモコン線」があり、システム構成により配線の種類及び許容長が異なります。

また、以下に示すように、伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近傍している場合は、ノイズ障害防止のためにユニット本体をノイズ源から離すと共に、シールド線の使用を推奨します。

伝送線（M-NET伝送線）

システム構成		単一冷媒系統システムの場合		複数冷媒系統システムの場合
配線の種類	伝送線の長さ	120m未満		120m以上 長さに無関係
	対象施設例 (ノイズ判定)	住宅及び独立店舗など ノイズ発生がない施設	ビル、診療所、病院、通信事業所など インバータ機器、自家発電機器、高周波医療機器、 無線通信装置などによるノイズの発生が想定される施設	全ての施設
	線種	VCTF・VCTEK・CVV・ CVS・VVR・VVF・VCT 又はシールド線 CVVS・CPEVS	シールド線 CVVS・CPEVS	
	線数	2心ケーブル		
	線径	1.25mm <sup>2</sup> 以上		
室内外伝送線最遠長		最大120m		最大200m * 室外ユニットを經由した集中管理用 伝送線及び室内外伝送線の最遠長は、 最大500m

### リモコン線

		MAリモコン	M-NETリモコン	
配線の種類		VCTF、VCTFK、CVV、CVS、 VVR、VVF、VCT	10m以下	10mを超える場合
			VCTF、VCTFK、CVV、CVS、 VVR、VVF、VCT	伝送線と同一仕様となります
	線数	2心ケーブル		
	線径	0.3～1.25mm <sup>2</sup>	0.5～0.75mm <sup>2</sup>	
総延長		最大200m	最大10m	10mを超える部分は、室内外伝 送線最遠長の内数としてください

## 2.2 スイッチ設定の種類と方法

スイッチ設定は、システム構成により設定の要否が異なります。配線工事の前に必ず、【2.3システム接続例】をご覧ください。

また、スイッチを設定する場合は、必ず電源を遮断した状態で行ってください。

通電状態のままスイッチを操作した場合は、設定内容が変わらず正常に動作しません。

スイッチ設定ユニット		記号	電源遮断ユニット
室外ユニット		OC	室外ユニット
室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	1 TU	蓄熱槽ユニット
	定速ユニット	2 OS	室外ユニット及び定速ユニット
	分流コントローラ	3 BC	室外ユニット及び分流コントローラ
室内ユニット	親機・子機	IC	室外ユニット及び室内ユニット
ロスナイ		4 LC	室外ユニット及びロスナイ
M-NETリモコン	主・従リモコン	RC	室外ユニット
MAリモコン	主・従リモコン	MA	室内ユニット

- 1 TUは、ICE-Ykシステムの場合のみ存在します。
- 2 OSは、SET-Yシステムの場合のみ存在します。
- 3 BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
- 4 LCは、LC接続時です。

(1)アドレスの設定

システム構成により、アドレス設定の要否及びアドレス設定範囲が異なります。

【2.3システム接続例】でご確認ください。

ユニット又はコントローラ		記号	アドレス設定範囲	設定方法	工場出荷時のアドレス設定
室内ユニット	親機・子機	IC	0、01～50 注1	同一グループ内の親機にしたい室内ユニットを最も若いアドレスにし、同一グループ内の室内ユニットアドレスを順番に設定してください。	00
ロスナイ		LC		全室内ユニット設定後に任意のアドレスを設定してください。	00
M-NETリモコン	主リモコン	RC	101～150	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+100に設定してください。	101
	従リモコン	RC	151～200 注2	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+150に設定してください。	
MAリモコン		MA	アドレス設定不要です。(但し、2リモコン運転する場合は主従切換スイッチ設定が必要です)		主
室外ユニット		OC	0、51～100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若い室内ユニットアドレス+50に設定してください。	00
室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	注1、3、4	冷媒系内の室外ユニットアドレス+1に設定してください。	
	定速ユニット	OS			
	分流コントローラ	BC			

注1 単一冷媒システム時(一部を除く)は、アドレス設定不要です。

注2 M-NETリモコンのアドレスを“200”に設定する場合は“00”としてください。

注3 室外ユニット及び室外補助ユニットのアドレスを“100”に設定する場合は“50”としてください。

注4 他の冷媒系統の室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。

(2)MAリモコン主従切換スイッチの設定「MAリモコン使用時(工場出荷時の設定“主”)」

MAリモコンには、主・従切換スイッチがあります、2リモコン運転する場合は一方を従リモコンに設定してください。

(3)室内ユニット分岐口スイッチの設定「R2/WR2機種時(工場出荷時の設定：“0”)」

対応する分流コントローラの分岐口スイッチを設定してください。

分岐口を2つ以上使用する場合には、若い分岐口を設定してください。

分岐口1つ当たりの接続可能室内ユニット容量はJ90以下、接続可能台数は3台以下です。

(4)室外ユニット給電切換コネクタの設定(工場出荷時の設定：“CN41”にコネクタ接続)

システム構成	電源遮断ユニット
単一冷媒システム	CN41のまま(工場出荷時の設定)
複数冷媒システム	1台の室外ユニット(OC)のみ、給電切換コネクタ(CN41)を(CN40)に差し替えます。
システムコントローラ(MELANS)との接続システム	CN41のまま(工場出荷時の設定) *但し、給電装置を使用せずに、システムコントローラ又はグループリモコンを室内外伝送線に接続する場合は、1台の室外ユニット(OC)のみ、給電切換コネクタ(CN41)を(CN40)に差し替えます。

(5)室外ユニット集中管理スイッチの設定(工場出荷時の設定：SW2-1“OFF”)

システム構成	集中管理スイッチの設定(SW2-1)
システムコントローラ(MELANS)との接続システム なし	OFFのまま(工場出荷時の設定)
システムコントローラ(MELANS)との接続システム あり	ON

(6)室内ユニット室温検出位置の設定(工場出荷時の設定：SW1-1“OFF”)

リモコン内蔵センサーを使用する場合は、SW1-1を“ON”に設定してください。

\*リモコンの機種により、内蔵センサーがないものがあります。

その場合は、室内ユニット内蔵センサーにてご使用ください。

\*リモコン内蔵センサー使用時は、室温検出可能な部分へのリモコン取付をお願いします。

(7)その他

室外ユニット蓄熱システムスイッチ設定「ICE-Yk機種時(工場出荷時の設定：SW4-10“OFF”)」

室外ユニットに蓄熱槽ユニットを接続して使用する場合には、SW4-10を“ON”に設定してください。

室内ユニット冷房専用設定「冷房専用機種時(工場出荷時の設定：SW3-1“OFF”)」

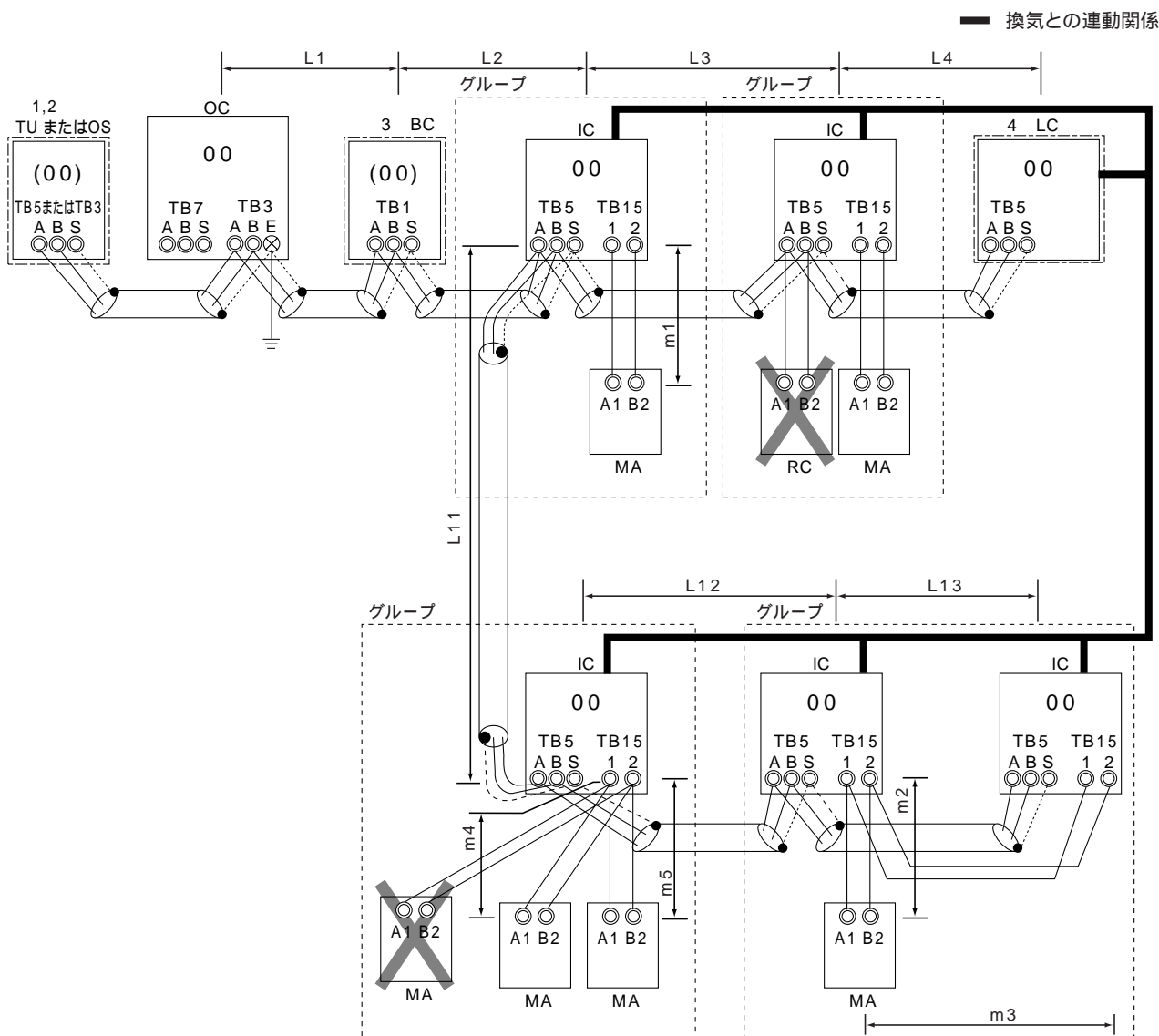
室内ユニットを冷房専用タイプとして使用される場合は、SW3-1を“ON”に設定してください。

## 2.3 システム接続例

### (1)MAリモコンを用いたシステム

単一冷媒システムの場合（室内外自動アドレス立ち上げ）

制御線配線例



1. TUは、ICE-Ykシステムの場合のみ存在します。
2. OSは、SET-Yシステムの場合のみ存在します。
3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
4. LCは、LC接続時です。

—シールド線使用例—

#### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETRIリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
4. ICE-Y及びICE-Yk等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

#### 許容長

- < a . 室内外伝送線 >
  - 最遠長 ( 1 . 2 5 mm<sup>2</sup>以上 )
  - L 1 + L 2 + L 3 + L 4                      2 0 0 m
  - L 1 + L 2 + L 1 1 + L 1 2 + L 1 3        2 0 0 m
- < b . 集中管理用伝送線 >
  - 接続不要です
- < c . MAリモコン配線 >
  - 総延長 ( 0 . 3 ~ 1 . 2 5 mm<sup>2</sup> )
  - m 1    2 0 0 m
  - m 2 + m 3                                      2 0 0 m
  - m 4 + m 5                                      2 0 0 m

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

室外ユニット (OC) の室内外伝送線用端子台 (TB3) の A, B 端子と蓄熱槽ユニット (TU) の室内外伝送線用端子台 (TB5) の A, B 端子 / 定速ユニット (OS) の室内外伝送線用端子台 (TB3) の A, B 端子 / 分流コントローラ (BC) の室内外伝送線用端子台 (TB1) の A, B 端子 } 及び各室内ユニット (IC) の室内外伝送線用端子台 (TB5) の A, B 端子を渡り配線します。(無極性 2 線)

伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近接している場合は、シールド線の使用を推奨します。

[ シールド線の処理 ]

シールド線のアースは、OC のアースネジと、{ TU の端子台 (TB5) / OS の端子台 (TB3) / BC の端子台 (TB1) } の S 端子、及び IC の端子台 (TB5) の S 端子とを渡り配線します。

< b . 集中管理用伝送線 >

接続不要です。

< c . MA リモコン配線 >

IC の MA リモコン線用端子台 (TB15) の 1, 2 端子をそれぞれ MA リモコン (MA) の端子台に接続します (無極性 2 線)

MA は、室内ユニット C タイプ以降の機種に接続可能です。

[ 2 リモコン運転の場合 ]

2 リモコンとする場合は、IC の端子台 (TB15) の 1, 2 端子と 2 つの MA の端子台をそれぞれ接続します。

一方の MA リモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。(設定方法は、MA リモコンの据付説明書をご覧ください。)

[ 室内グループ運転の場合 ]

IC をグループ運転をする場合は、一方の IC の端子台 (TB15) の 1, 2 端子同士を接続します。(無極性 2 線)

機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、親機室内ユニットのみアドレス設定が必要になります。同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットのアドレスを 01 ~ 50 の若い番号に設定してください。

< d . ロスナイ接続 >

IC の端子台 (TB5) の A, B 端子とロスナイ (LC) の室内外伝送線用端子台 (TB5) を渡り配線します。(無極性 2 線)

単一冷媒に 2 台以上のロスナイを接続する場合又は、16 台を超える室内ユニットとロスナイを接続する場合は(1) をご参照ください。

< e . スイッチ設定 >

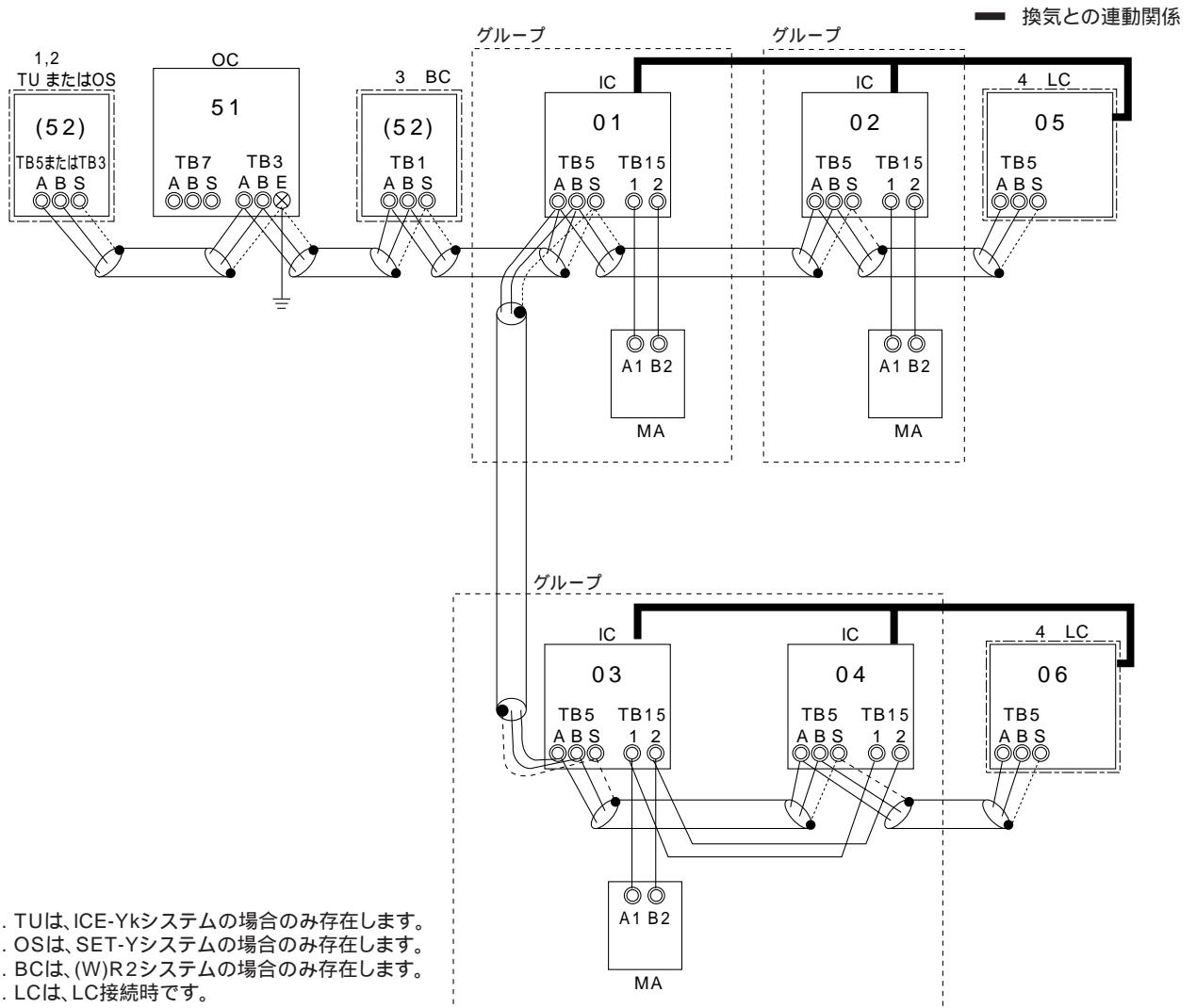
アドレス設定は不要です

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	室内 ユニット	親機	IC	設定不要	-	00
		子機	IC			
2	ロスナイ		LC	設定不要	-	00
3	MA リモコン	主リモコン	MA	設定不要	-	主
		従リモコン	MA	従リモコン		
4	室外ユニット		OC	設定不要	-	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU			
		定速ユニット	OS			
		分流コントローラ	BC			

(1)MAリモコンを用いたシステム

単一冷媒システムで、かつ、ロスナイ2台以上接続の場合（室内外手動アドレス設定立ち上げ）

制 御 線 配 線 例



1. TUは、ICE-Ykシステムの場合のみ存在します。
2. OSは、SET-Yシステムの場合のみ存在します。
3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
4. LCは、LC接続時です。

—シールド線使用例—

禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM - N E TリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
4. 単一冷媒系統内に2台以上のロスナイを接続する場合は、次項の「冷媒系統内ロスナイ2台接続」を参照ください。
5. ICE-Y及びICE-Yk等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

許容長

- < a . 室内外伝送線 > (1) と同様
- < b . 集中管理用伝送線 > 接続不要です
- < c . MAリモコン配線 > (1) と同様

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

接続不要です。

< c . MAリモコン配線 >

(1) と同様

[ 2リモコン運転の場合 ]

(1) と同様

[ 室内グループ運転の場合 ]

(1) と同様

< d . ロスナイ接続 >

室内ユニット ( IC ) の端子台 ( TB 5 ) の A、B 端子とロスナイ ( LC ) の端子台 ( TB 5 ) を渡り配線します。(無極性 2 線)

リモコンから室内ユニットとロスナイとの連動登録が必要です。(登録方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。)

< e . スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時	
1	室内 ユニット	親機	IC	01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R2 / WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> <li>・ 機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、同一グループ内の一番機能の多い室内ユニットを親機としてください。</li> </ul>	00
		子機	IC	01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC	01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・ 室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MA リモコン	主リモコン	MA	設定不要	-		主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC	51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・ アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51 ~ 100	室外ユニットアドレス+1		
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				



配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

室外ユニット (OC) の室内外伝送線用端子台 (TB3) の A, B 端子と { 蓄熱槽ユニット (TU) の室内外伝送線用端子台 (TB5) の A, B 端子 / 定速ユニット (OS) の室内外伝送線用端子台 (TB3) の A, B 端子 / 分流コントローラ (BC) の室内外伝送線用端子台 (TB1) の A, B 端子 } 及び各室内ユニット (IC) の室内外伝送線用端子台 (TB5) の A, B 端子を渡り配線します。(無極性 2 線)

必ずシールド線をご使用ください。

[ シールド線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

各 OC の集中管理用伝送線端子台 (TB7) の A, B 端子を渡り配線します。1 台の OC のみ、制御基板上的給電切換コネクタ (CN41) を (CN40) に差し替えます。

必ずシールド線をご使用ください。

[ シールド線の処理 ]

シールド線のアースは、各 OC の端子台 (TB7) の S 端子を渡り配線します。(CN40) に差し替えた 1 台の OC の端子台 (TB7) の S 端子を電気品箱のアースネジ (E) に接続します。

< c . MA リモコン配線 >

(1) と同様

[ 2 リモコン運転の場合 ]

(1) と同様

[ 室内グループ運転の場合 ]

(1) と同様

< d . ロスナイ接続 >

(1) と同様

< e . スイッチ設定 >

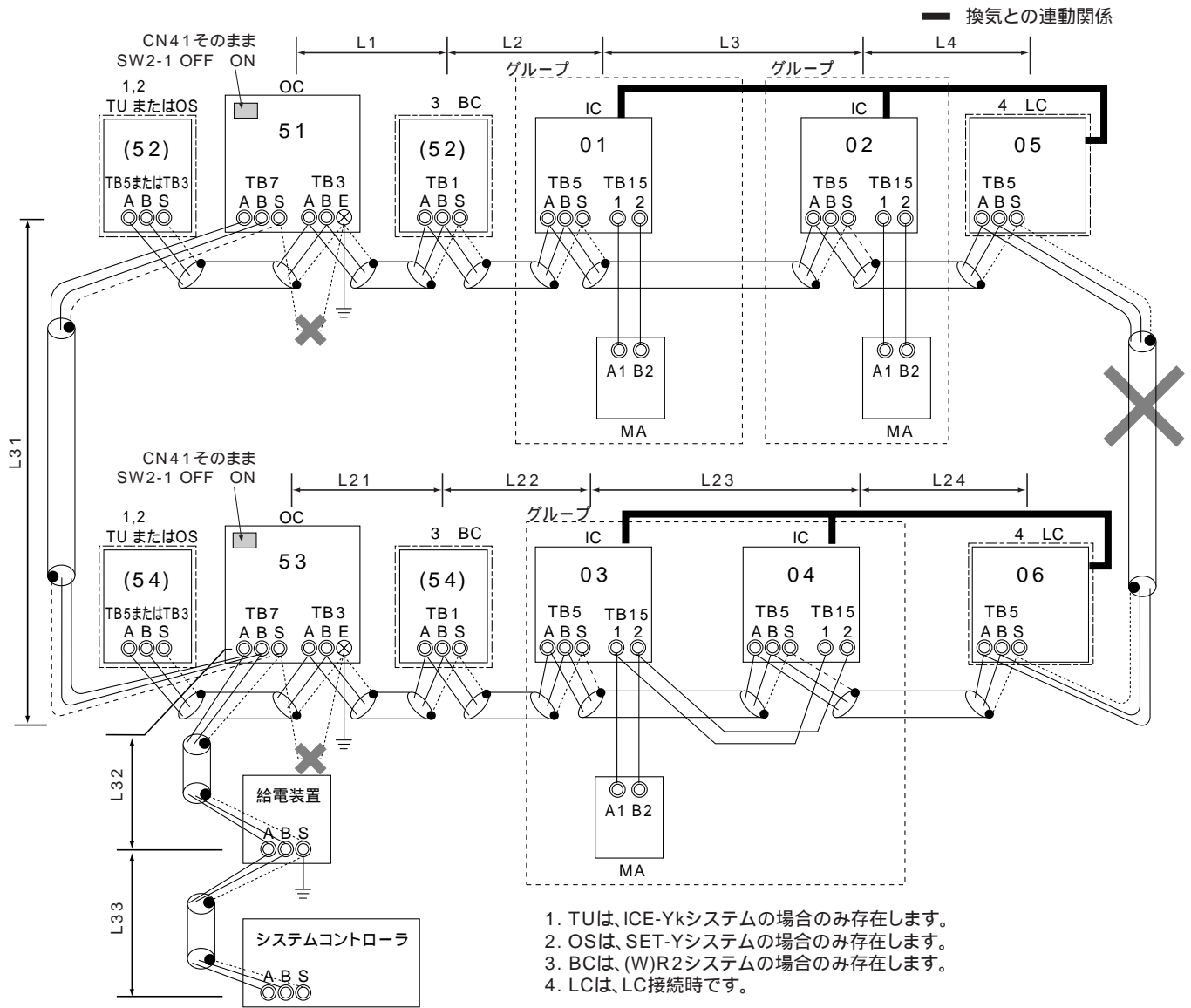
以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス設定範囲	設定方法	注意事項	工場出荷時	
1	室内ユニット	親機	IC	01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	・ R2 / WR2 機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC	01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC	01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・ 室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MA リモコン	主リモコン	MA	設定不要	-		主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC	51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・ アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51 ~ 100	室外ユニットアドレス+1	・ アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。 ・ 室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きユニットを設定してください。	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				



(1)MAリモコンを用いたシステム  
システムコントローラ接続の場合

制御線配線例



禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETRリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台(TB5)同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ(CN41)はそのままにしてください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台(TB7)のS端子のアース処理は不要です。
6. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. ICE-Y及びICE-Yk等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びブロスナイの運転はできません。

許容長

- < a . 室内外伝送線 >  
(1) と同様
- < b . 集中管理用伝送線 >  
室外ユニットを経由した最遠長 ( 1 . 2 5 mm<sup>2</sup>以上 )
- |  |      |
|--|------|
| $L_{33} + L_{32} + L_{31} + L_1 + L_2 + L_3 + L_4$                   | 500m |
| $L_{33} + L_{32} + L_{21} + L_{22} + L_{23} + L_{24}$                | 500m |
| $L_1 + L_2 + L_3 + L_4 + L_{31} + L_{21} + L_{22} + L_{23} + L_{24}$ | 500m |
- < c . MAリモコン配線 >  
(1) と同様

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

(1) と同様

[ シールド線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

各室外ユニット ( OC ) の集中管理用伝送線端子台 ( TB 7 ) の A , B 端子を渡り配線します。

全 OC の制御基板上の集中管理スイッチ ( SW 2 - 1 ) を “ ON ” に設定します。

必ずシールド線をご使用ください。

[ シールド線の処理 ]

シールド線のアースは、各 OC の端子台 ( TB 7 ) の S 端子を渡り配線します。

システムコントローラの給電装置の S 端子をアース接地してください。

給電装置からアース接地できない場合は、1 台の室外ユニットの端子台 ( TB 7 ) の S 端子を電気品箱のアースネジ ( E ) に接続してください。

< c . MA リモコン配線 >

(1) と同様

[ 2 リモコン運転の場合 ]

(1) と同様

[ 室内グループ運転の場合 ]

(1) と同様

< d . ロスナイ接続 >

IC の端子台 ( TB 5 ) の A , B 端子とロスナイ ( LC ) の室内外伝送線用端子台 ( TB 5 ) を渡り配線します。(無極性 2 線)

システムコントローラから室内ユニットとロスナイとの連動登録が必要です。

(登録方法は、システムコントローラの取扱説明書をご覧ください。)

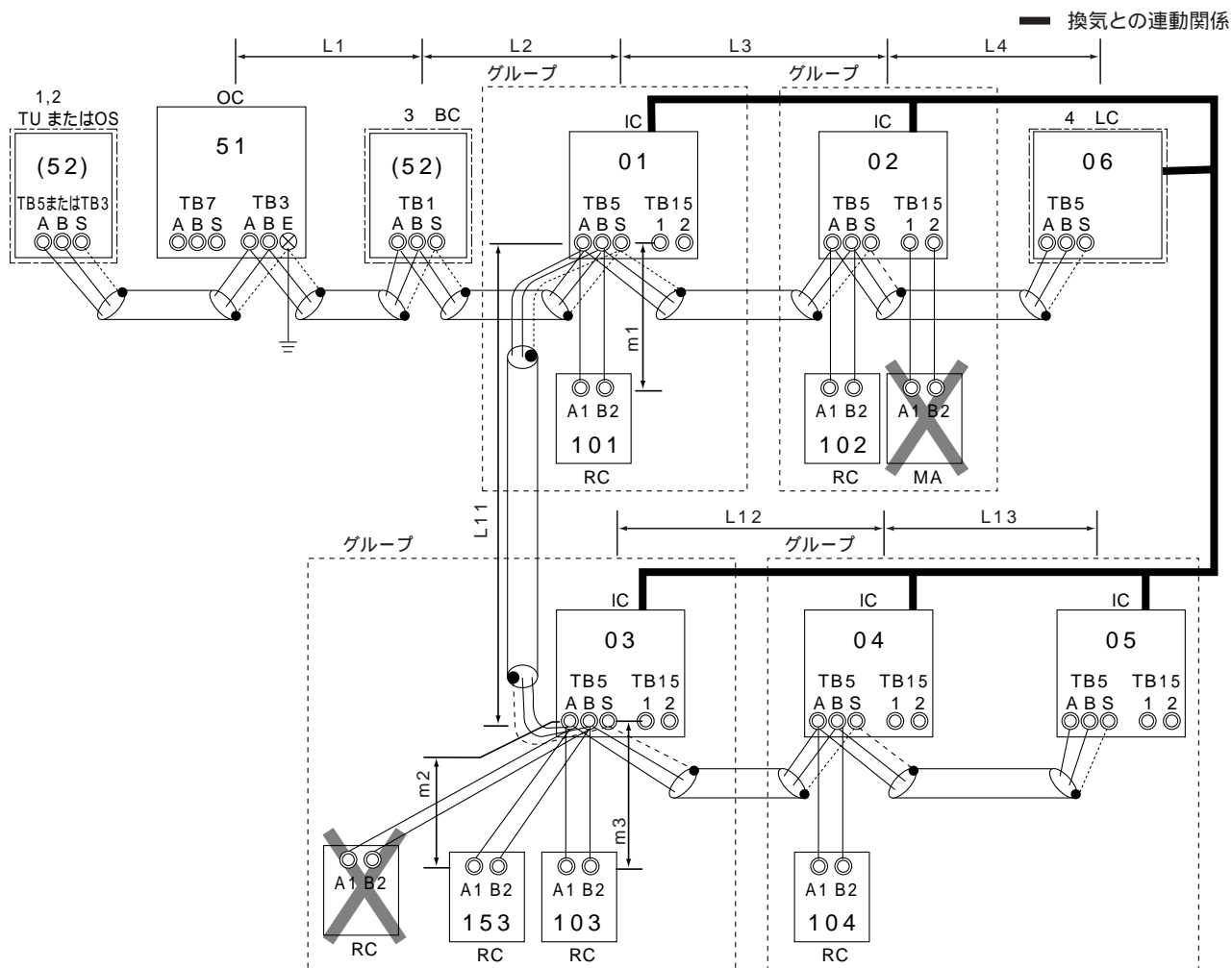
< e . スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	室内 ユニット	親機	IC 01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	・ R2 / WR2 機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC 01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC 01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MA リモコン	主リモコン	MA 設定不要	-	・ MA リモコン配線で実施した室内グループ設定と同一内容をシステムコントローラで設定してください。	主
		従リモコン	MA 従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC 51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	室外ユニットアドレス+1	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。 ・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きユニットを設定してください。	00
		定速ユニット	OS 51 ~ 100			
		分流コントローラ	BC			

(2)M-NETリモコンを用いたシステム  
単一冷媒システムの場合

制御線配線例



1. TUは、ICE-Ykシステムの場合のみ存在します。
2. OSは、SET-Yシステムの場合のみ存在します。
3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
4. LCは、LC接続時です。

—シールド線使用例—

禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
4. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
5. ICE-Y及びICE-Yk等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

許容長

- < a . 室内外伝送線 >  
(1) と同様
  - < b . 集中管理用伝送線 >  
接続不要です。
  - < c . M-NETリモコン配線 >  
総延長 ( 0 . 5 ~ 0 . 7 5 mm<sup>2</sup> )  
m 1            10 m  
m 2 + m 3    10 m
- 注. 但し、10mを超える場合は、配線径を1.25mm<sup>2</sup>とし、  
< a . 室内外伝送線 >の内数としてください。

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

接続不要です。

< c . M - N E Tリモコン配線 >

室内ユニット ( I C ) の室内外伝送線用端子台 ( T B 5 ) の A , B 端子をそれぞれ M - N E Tリモコン ( R C ) の端子台に接続します ( 無極性 2 線 ) 。

[ 2 リモコン運転の場合 ]

2 リモコンとする場合は、 I C の端子台 ( T B 5 ) の A , B 端子と 2 つの R C の端子台をそれぞれ接続します。

[ 室内グループ運転の場合 ]

I C をグループ運転をする場合は、同一グループとする I C の親機 I C の端子台 ( T B 5 ) の A , B 端子と R C の端子台を接続します ( 無極性 2 線 ) 。

機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットを親機としてください。

< d . ロスナイ接続 >

(1) と同様

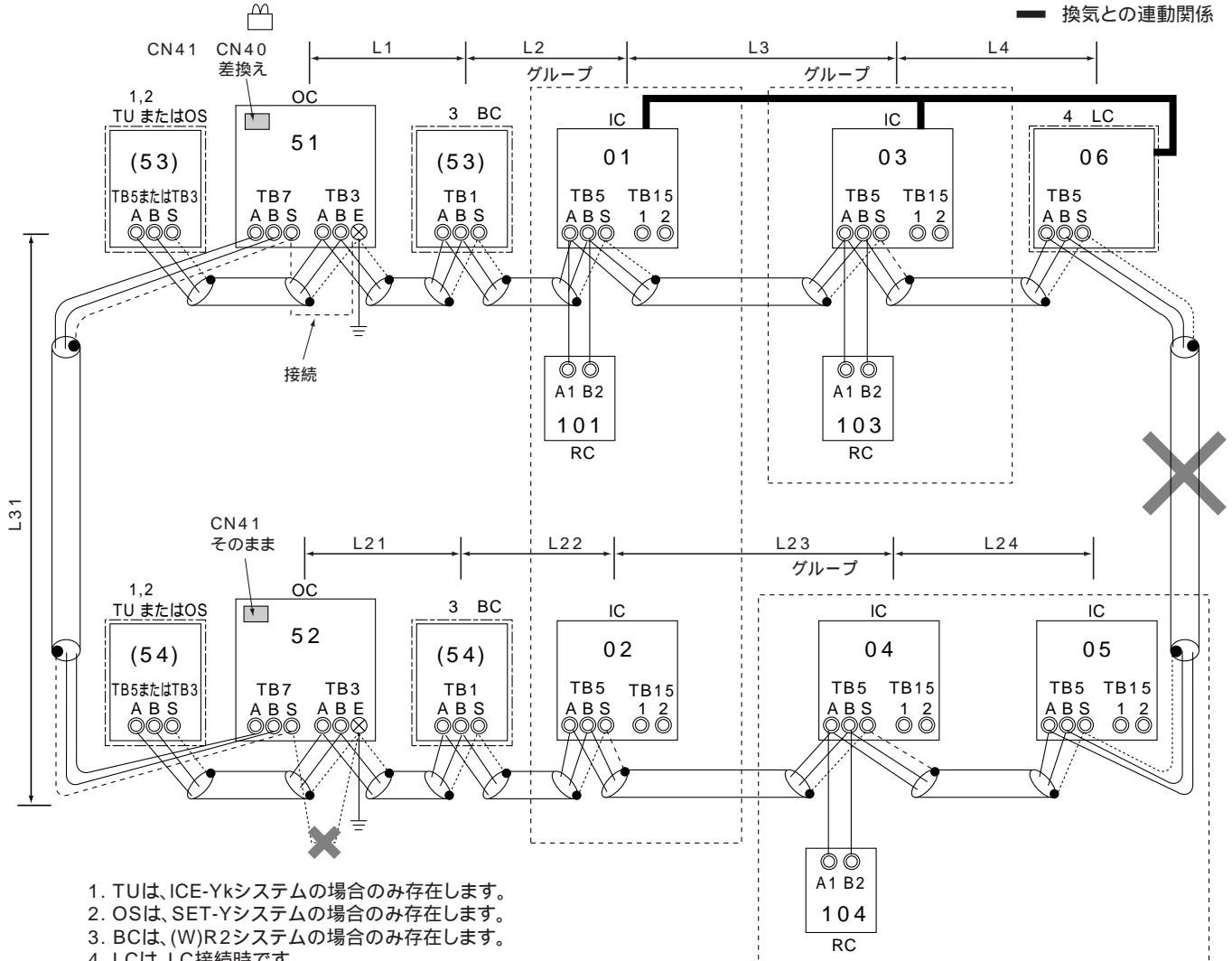
< e . スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	室内 ユニット	親機	IC 01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内グループ設定内容をシステムコントローラ(MLANS)で初期設定してください。</li> <li>R2 / WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
		子機	IC 01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機(IC)+1, +2, +3,...]		
2	ロスナイ		LC 01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC 101 ~ 150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>100の位を設定する必要はありません。</li> <li>アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>	101
		従リモコン	RC 151 ~ 200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC 51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS 51 ~ 100			
		分流コントローラ	BC			

(2)M-NETリモコンを用いたシステム  
異冷媒グルーピング運転の場合

制御線配線例



禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台(TB5)同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ(CN41)の差し替えは、1台の室外ユニットのみで実施してください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台(TB7)のS端子のアース処理は、1台の室外ユニットのみで実施してください。
6. 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
8. ICE-Y及びICE-YK等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムとそれ以外のシステムのグループ運転はできません。
9. ICE-Y及びICE-YK等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

許容長

- < a . 室内外伝送線 >
  - (1) と同様
- < b . 集中管理用伝送線 >
  - (1) と同様
- < c . M-NETリモコン配線 >
  - (2) と同様

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< c . M - N E Tリモコン配線 >

(2) と同様

[ 2リモコン運転の場合 ]

(2) と同様

[ 室内グループ運転の場合 ]

(2) と同様

< d . ロスナイ接続 >

(1) と同様

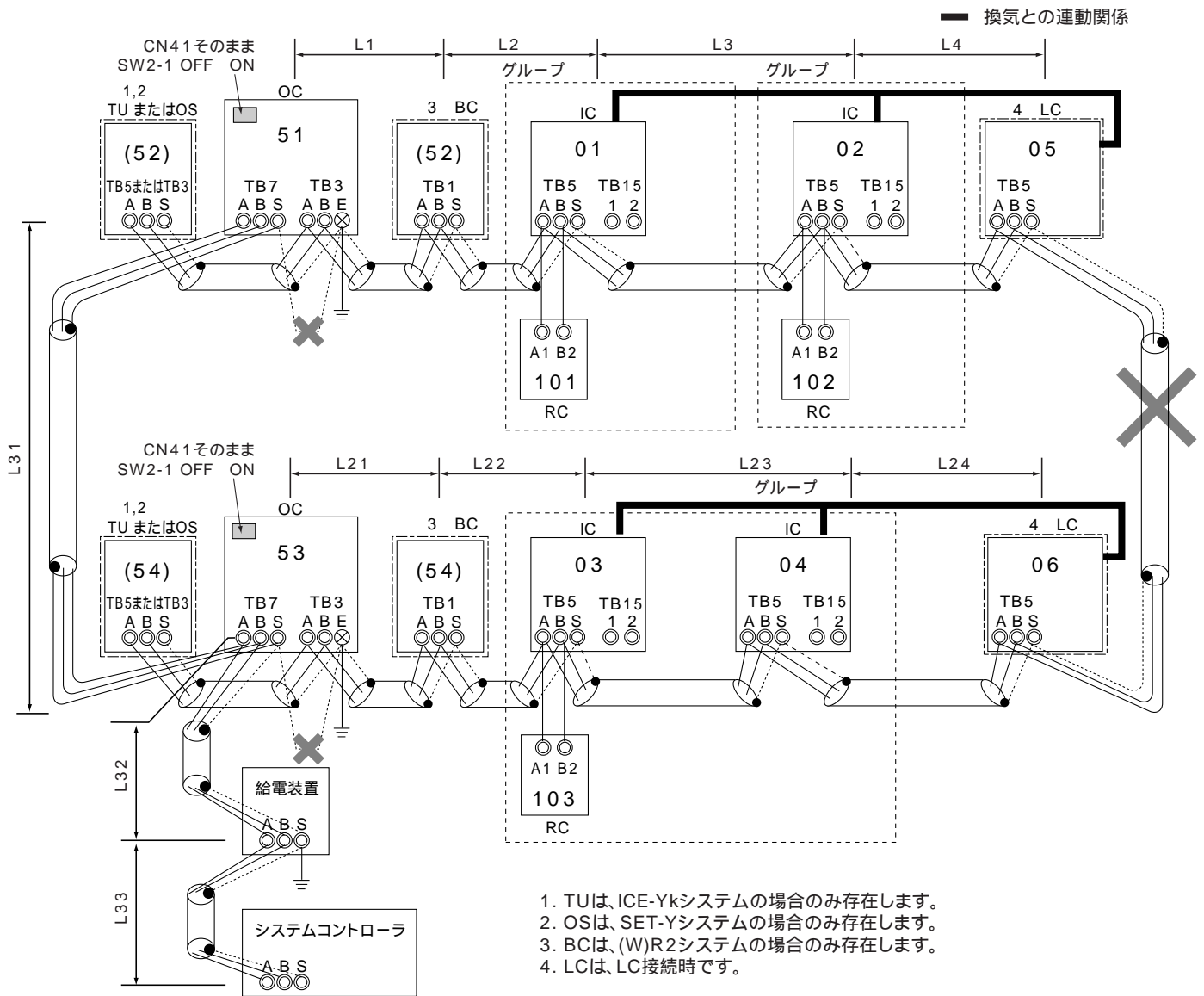
< e . スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時	
1	室内 ユニット	親機	IC	01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、異冷媒グループ運転の室内ユニットのアドレスを設定してください。</li> <li>・R2 / WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> <li>・リモコンから、異冷媒グループ内容の登録が必要です。</li> </ul>	00
		子機	IC	01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機(IC)+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC	01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。</li> </ul>	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101 ~ 150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100の位を設定する必要はありません。</li> <li>・アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>	101
		従リモコン	RC	151 ~ 200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC	51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> </ul>	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51 ~ 100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

(2)M-NETリモコンを用いたシステム  
システムコントローラ接続の場合

制御線配線例



禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台(TB5)同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ(CN41)はそのままにしてください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台(TB7)のS端子のアース処理は不要です。
6. 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
8. ICE-Y及びICE-Yk等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

許容長

- < a . 室内外伝送線 >
  - (1) と同様
- < b . 集中管理用伝送線 >
  - (1) と同様
- < c . M-NETリモコン配線 >
  - (2) と同様

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< c . M - N E Tリモコン配線 >

(2) と同様

[ 2リモコン運転の場合 ]

(2) と同様

[ 室内グループ運転の場合 ]

(2) と同様

< d . ロスナイ接続 >

(1) と同様

< e . スイッチ設定 >

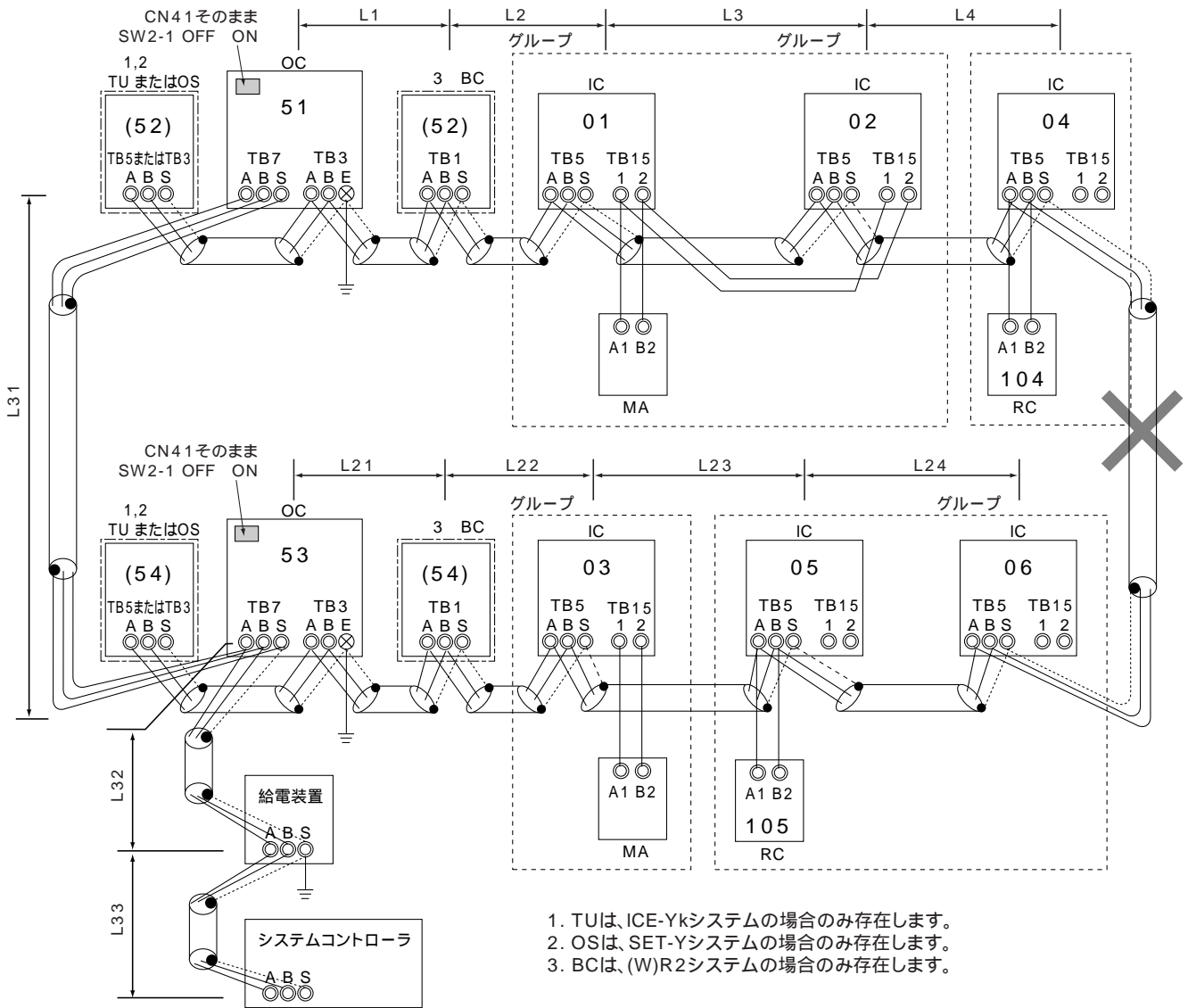
以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	室内 ユニット	親機	IC 01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内グループ設定内容をシステムコントローラで初期設定してください。</li> <li>・R2 / WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
		子機	IC 01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機(IC)+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC 01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。</li> </ul>	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC 101 ~ 150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100の位を設定する必要はありません。</li> <li>・アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>	101
		従リモコン	RC 151 ~ 200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC 51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> </ul>	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS			
		分流コントローラ	BC			



(3)MAリモコンとM-NETリモコンを混在したシステム

制御線配線例



禁止事項

1. 必ずシステムコントローラを接続してください。
2. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
3. 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
4. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
5. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台(TB5)同士を接続しないでください。
6. 室外ユニットの給電切換コネクタ(CN41)はそのままにしてください。
7. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台(TB7)のS端子のアース処理は不要です。
8. 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
9. J224以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。

10. ICE-Y及びICE-Yk等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

許容長

- < a . 室内外伝送線 >
  - (1) と同様
- < b . 集中管理用伝送線 >
  - (1) と同様
- < c-1 . MAリモコン配線 >
  - (1) と同様
- < c-2 . M-NETリモコン配線 >
  - (2) と同様

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< b . 集中管理用伝送線 >

(1) と同様

[ シール線の処理 ]

(1) と同様

< c-1 . MAリモコン配線 > , [ 2リモコン運転の場合 ] , [ 室内グループ運転の場合 ]

(1) と同様

< c-2 . M-NETリモコン配線 > , [ 2リモコン運転の場合 ] , [ 室内グループ運転の場合 ]

(2) と同様

< d . ロスナイ接続 >

(1) と同様

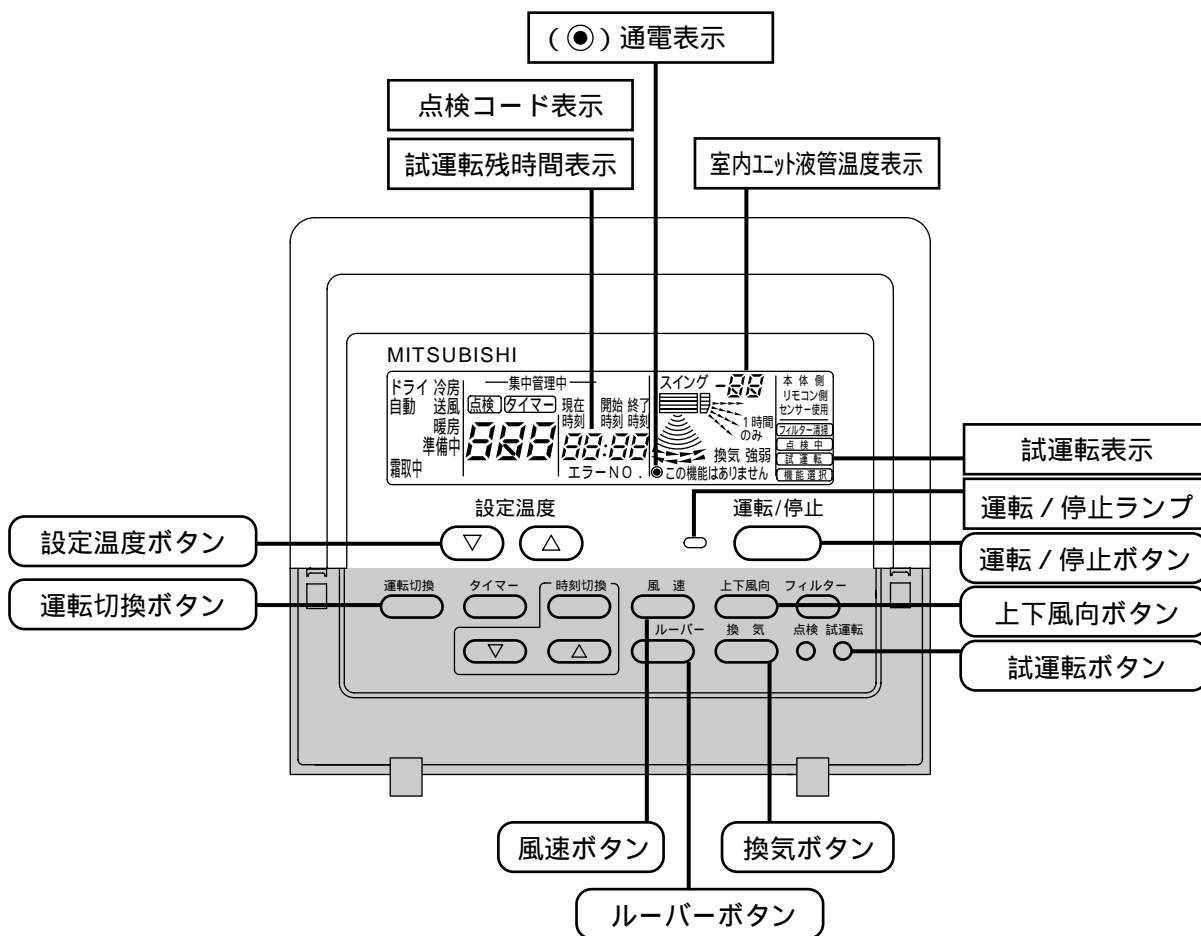
< e . スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		親機	子機	アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	MA リモコン での操作	室内 ユニット	親機	IC	01 ~ 50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M-NETリモコンに接続されている室内ユニットのアドレスより若いアドレスを設定してください。</li> <li>・室内グループ設定内容をシステムコントローラで初期設定してください。</li> <li>・R2 / WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
			子機	IC	01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機(IC)+1, +2, +3, …]		
	MA リモコン	主リモコン	MA	設定不要	-			主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定			
2	M-NET リモコン での操作	室内 ユニット	親機	IC	01 ~ 50	MAリモコンで操作する室内ユニットのアドレスを設定後、親機としたい室内ユニットに同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内グループ設定内容をシステムコントローラで初期設定してください。</li> <li>・R2 / WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
			子機	IC	01 ~ 50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機(IC)+1, +2, +3, …]		
	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101 ~ 150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100の位を設定する必要はありません。</li> <li>・アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>		101
		従リモコン	RC	151 ~ 200	同一グループ内の親機アドレス+150			
3	ロスナイ		LC	01 ~ 50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00	
4	室外ユニット		OC	51 ~ 100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00	
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51 ~ 100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00	
		定速ユニット	OS					
		分流コントローラ	BC					

# 3. 試運転と自己診断

## 3.1 MAリモコンの操作方法



## 3.2 点検コード

点検コード		不具合内容	検出ユニット								備考	
分類	コード		室外工外		室外補助ユニット		室内ユニット			リモコン		
			OC	IU	OC	BC	IC	FU	LC	MA		RC
通信関連 (6***)	6831	MA通信受信異常 (受信なし)										
	6832	MA通信送信異常 (ｽﾀｰﾄﾞ外検出異常)										
	6833	MA通信送信異常 (H/W異常)										
	6834	MA通信受信異常 (同期回復異常)										

(注1) 上記以外の点検コードは、各機種の据付説明書にてご確認ください。

### 3.2 リモコンの動作不具合と処置

#### (1)MAリモコンシステムの場合

不具合現象または点検コード	要 因	チェック方法と処理
リモコンに運転表示されるが、一部の室内ユニットが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニットの電源が入っていない</li> <li>・同一グループ内の室内ユニット間の配線忘れ</li> <li>・スリム機種と同一グループ接続されている</li> <li>・室内ユニット制御基板のヒューズ切れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常発生が以下のうちどれかを確認する。 システム全体 冷媒系統内全て 同一グループ内のみ 一台の室内ユニットのみ</li> </ul>
室内ユニット運転してもすぐリモコンが消える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニット（親機）の電源が入っていない</li> <li>・システムコントローラとのグルーピング一致していない</li> <li>・室内ユニット（親機）制御基板のヒューズ切れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;システム全体の場合及び冷媒系統内全ての場合&gt;</li> <li>・室外ユニットの自己診断LEDを確認する</li> <li>・左記項目のうち室外ユニットの関連している項目を確認する</li> </ul>
ロスナイとの連動登録が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロスナイの電源が入っていない</li> <li>・異冷媒のロスナイで異冷媒の室外ユニットの電源が入っていない</li> <li>・室内ユニットに既にロスナイ（1台）登録されている</li> <li>・ロスナイのアドレスが異なっている</li> <li>・ロスナイのアドレスを設定していない</li> <li>・ロスナイが伝送線に接続されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;同一グループ内のみ及び一台の室内ユニットのみ場合&gt;</li> <li>・左記項目のうち室内ユニットの関連している項目を確認する</li> </ul>
リモコンに通電表示（●）されていない（MAリモコン給電なし）	<p>室内ユニットは、室内外の立ち上げが正常に完了するまでリモコン給電されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニットの電源が入っていない</li> <li>・室外ユニットの電源が入っていない</li> <li>・リモコン接続台数（2台）オーバー又は、室内接続台数（16台）オーバー</li> <li>・室内ユニットのアドレスが“00”で、室外ユニットのアドレスが“00”以外となっている</li> <li>・室内外伝送線がTB7に接続されている</li> <li>・室内外伝送線にMAリモコンが接続されている</li> <li>・リモコン線のショート/断線</li> <li>・電源配線又は伝送線のショート/断線</li> <li>・室内ユニット制御基板のヒューズ切れ</li> </ul>	
リモコンの“HO”が消えない又は、“HO”を周期的に繰り返す（室外ユニットの電源投入後通常最大3分“HO”表示されます）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室外ユニットの電源が入っていない</li> <li>・伝送線用給電拡張ユニットの電源が入っていない</li> <li>・MAリモコン主従切替を従にしている</li> <li>・室内外伝送線にMAリモコンが接続されている</li> </ul>	
リモコンに通電表示（●）が表示されているが運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニット（親機）の電源が入っていない</li> <li>・室内外伝送線をTB7に接続されている</li> <li>・室内外伝送線ショート又は断線・接触不良</li> <li>・室内ユニット（親機）制御基板のヒューズ切れ</li> </ul>	

(2)M-NETリモコンシステムの場合

不具合現象または点検コード	要 因	チェック方法と処理
リモコンに運転表示されるが、一部の室内ユニットが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニットの電源が入っていない</li> <li>・同一グループ内の室内ユニット又はリモコンのアドレスミス</li> <li>・異冷媒のグルーピングでリモコンで初期登録していない</li> <li>・室内ユニット制御基板のヒューズ切れ</li> </ul>	<p>異常発生が以下のうちどれかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム全体</li> <li>冷媒系統内全て</li> <li>同一グループ内のみ</li> <li>一台の室内ユニットのみ</li> </ul>
室内ユニット運転してもすぐリモコンが消える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内ユニットの電源が入っていない</li> <li>・室内ユニット制御基板のヒューズ切れ</li> </ul>	<p>&lt;システム全体の場合及び冷媒系統内全ての場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室外ユニットの自己診断LEDを確認する</li> <li>・左記項目のうち室外ユニットの関連している項目を確認する</li> </ul>
ロスナイとの連動登録が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロスナイの電源が入っていない</li> <li>・異冷媒のロスナイで異冷媒の室外ユニットの電源が入っていない</li> <li>・室内ユニットに既にロスナイ(1台)登録されている</li> <li>・ロスナイのアドレスが異なっている</li> <li>・ロスナイのアドレスを設定していない</li> <li>・ロスナイが伝送線に接続されていない</li> </ul>	<p>&lt;同一グループ内のみ及び一台の室内ユニットのみ場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左記項目のうち室内ユニットの関連している項目を確認する</li> </ul>
リモコンに通電表示(●)されていない (M-NETリモコン給電なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室外ユニットの電源が入っていない</li> <li>・冷媒系統内の室内ユニット又はリモコンの接続台数オーバー</li> <li>・MAリモコン線にM-NETリモコン接続</li> <li>・室内外伝送線のショート/断線</li> <li>・M-NETリモコン線のショート/断線</li> </ul>	
リモコンの“HO”が消えない 又は、“HO”を周期的に繰り返す (室外ユニットの電源投入後通常最大3分“HO”表示されます)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝送線用給電拡張ユニットの電源が入っていない</li> <li>・室外ユニット“00”のままとなっている</li> <li>・室内ユニット又はリモコンのアドレス設定ミス</li> <li>・室内外伝送線にMAリモコンが接続されている</li> </ul>	
リモコンに通電表示(●)が表示されているが運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内外伝送線をTB7に接続されている</li> <li>・MAリモコン主従切換を従にしている</li> <li>・室内外伝送線ショート又は断線・接触不良</li> </ul>	

